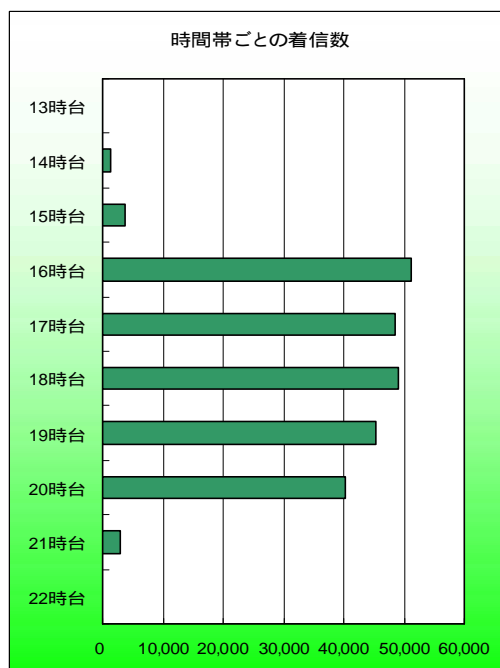
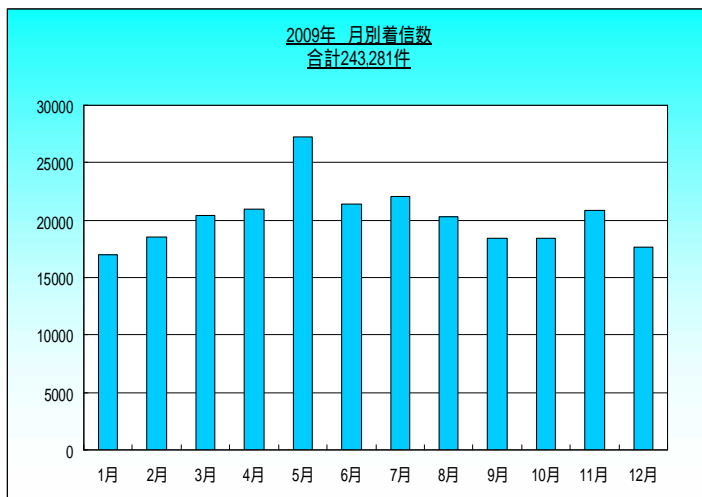
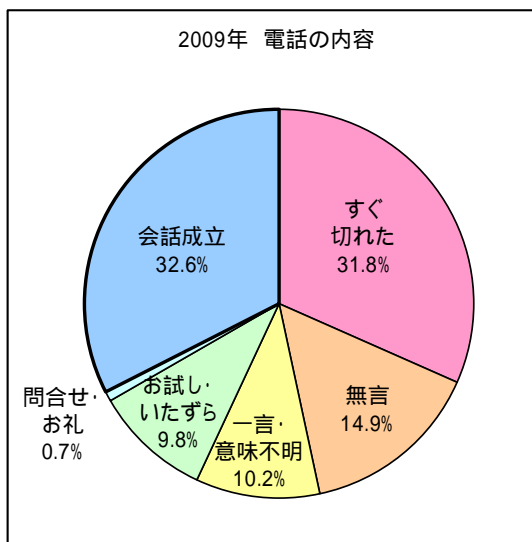


2009年 全国のチャイルドライン実施報告
 (チャイルドライン・データベースより 2010年4月21日現在の数値)

全体の様子

2009年に全国のチャイルドラインで着信した電話は243,281件でした。

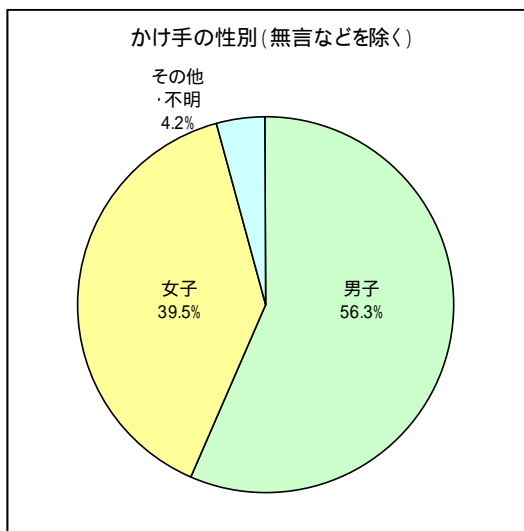
そのうち、会話が成立した電話は79,229件32.6%でした。そのほか、「すぐ切れた」「無言」が113,555件46.7%、「一言・意味不明」「お試し・いたずら」が48,893件20.0%、「問合せ・お礼」が1,604件0.7%でした。1カ月あたりの平均着信数は20,273件で、キャンペーンとして広報活動や実施態勢を強化した5月がもっとも多く、27,292件でした。電話を受けた時間帯は、16時台が最も多く、20時台に向けておおよそ減少しています。



かけてきた子どもの性別・年齢

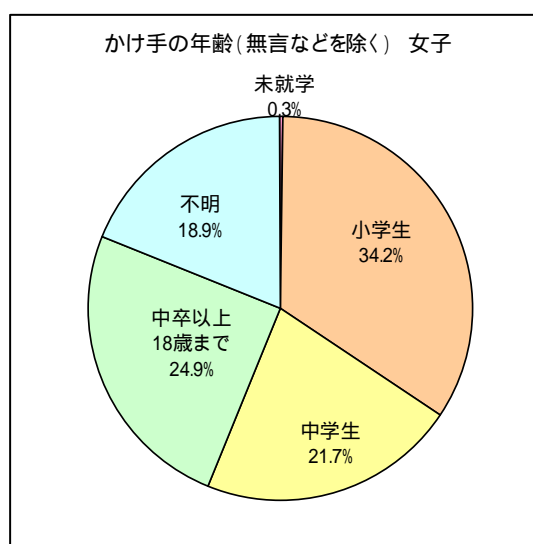
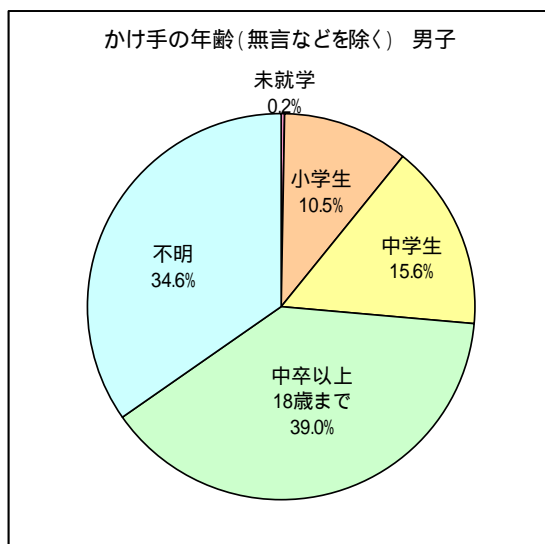
会話が成立した79,229件について、かけ手の性別は、男子が44,590件56.3%、女子が31,291件39.5%、性別不明やその他が3,348件4.3%でした。

かけ手の年齢は、男子では“小学生”や“中学生”に比較して、“中卒以上18歳まで”の割合が特に高く39%でした。女子では“小学生”が34%と最も高くなっていますが、“中学生”22%、“中卒以上18歳まで”も25%と、男子ほど年齢間での差が開きませんでした。



2009年 全国のチャイルドライン実施報告

(チャイルドライン・データベースより 2010年4月21日現在の数値)



電話の内容

電話の内容では、“性に関する話題”、“雑談や話し相手を求めるもの”、“不安な気持ち”、“いじめ”、“恋愛”や“人間関係”について、“学業”や、“生き方”などに関わる電話が、男女とも多くかかっています。それぞれの特徴としては、男子では“性に関する話題”が27.3%と、最も多くなっていますが、女子では“友人同士の間関係のもつれ”などに関わる話題が23.6%と最も多くなっています。ただ、男女とも、“話し相手がほしくてかけた、雑談のようなもの”が10%を超えており、“相談”というだけでなく、いろいろなことを話せる相手を求めてチャイルドラインにかけてきている様子が浮かび上がってきます。

電話の内容項目(多いもの10項目)

電話の内容 (無言等を除く)					
全体	着信数	男子	着信数	女子	着信数
性	18.0%	性	27.3%	人間関係	23.6%
雑談・話し相手	14.3%	雑談・話し相手	13.9%	雑談・話し相手	15.0%
人間関係	13.5%	セクステレフォン	7.1%	心の不安	10.9%
心の不安	8.0%	恋愛・異性関係	6.9%	いじめ	10.0%
いじめ	7.4%	人間関係	6.8%	恋愛・異性関係	8.6%
恋愛・異性関係	7.4%	心の不安	6.0%	性	5.2%
セクステレフォン	4.4%	いじめ	5.8%	学業・成績	2.8%
学業・成績	2.5%	学業・成績	2.3%	進路・将来・生き方	2.7%
進路・将来・生き方	2.3%	進路・将来・生き方	2.1%	病気・健康	2.4%
病気・健康	2.0%	部活・クラブ	1.9%	部活・クラブ	2.0%
その他	20.1%	その他	19.9%	その他	16.8%

掲載しているデータはチャイルドライン・データベースにより集計されたものです。2010年4月12日までに入力されたデータを使用しています。データベースに参加しているのは全国60のチャイルドラインで、2009年に受けたすべての電話のデータではありませんが、全体の傾向を表しているものと推測されます。